

第3回野生動物保全繁殖研究会大会プログラム

2019年 7月4日(木) - 7月5日(金)

会場 帆船日本丸・横浜みなと博物館訓練センター 第1、2教室

・会場へのアクセス

電車でお越しの方

JR 根岸線 市営地下鉄ブルーライン 桜木町駅下車 徒歩 5 分

※（J R の場合、南改札をご利用ください）

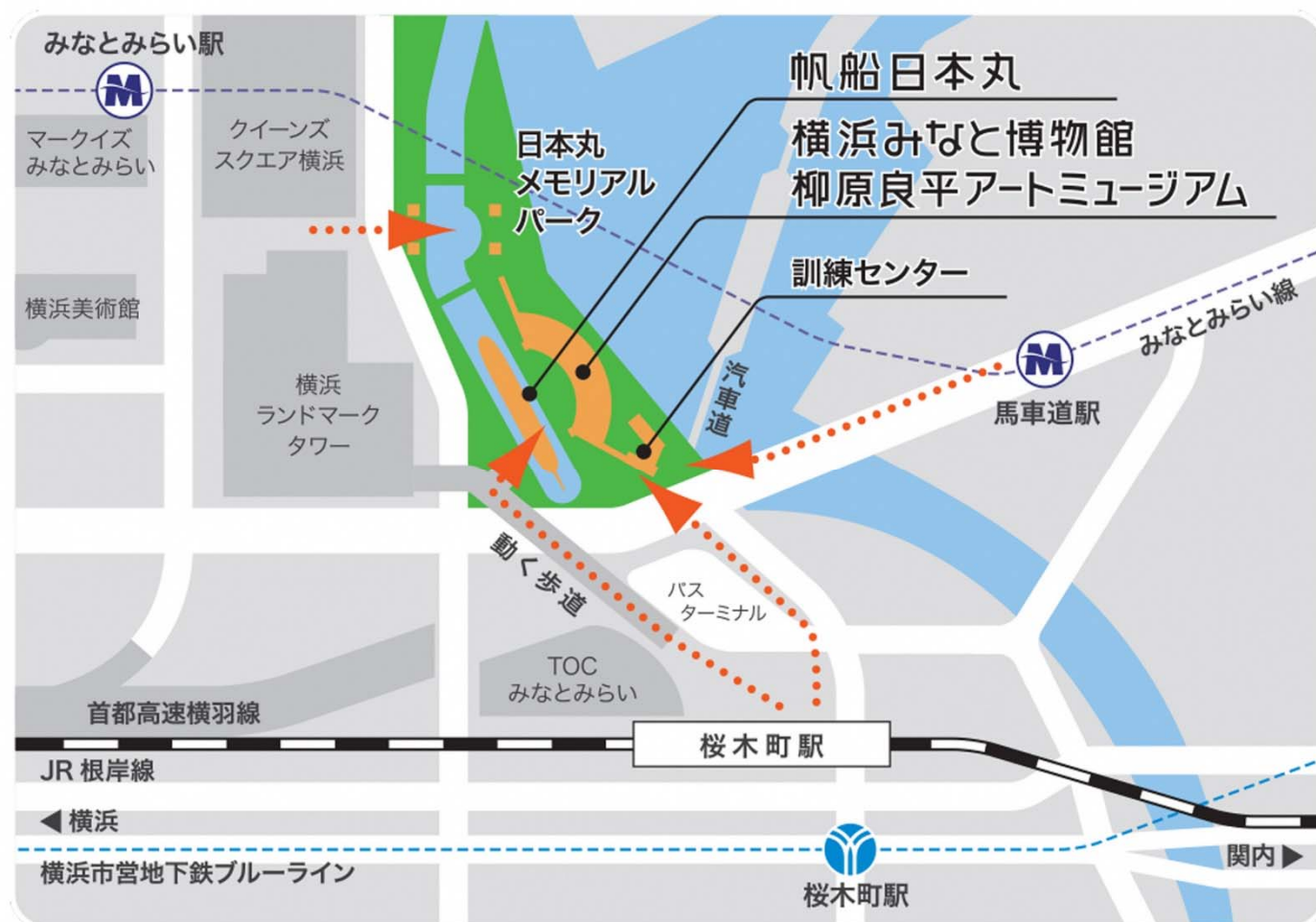
みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅下車 徒歩 5 分

※ J R をご利用いただいた方が、大会会場へはアクセスしやすいです。

車でお越しの方

首都高速横羽線「みなとみらい出口」から約 0.5km

（会場には駐車場はありません。近隣のパーキングを利用ください。）



≪連絡事項≫

■大会全般

○館内は全面禁煙です（電子タバコを含む）。喫煙は指定の喫煙場所をお願いします。

○飲食は会場内のみとなります。館内の他の場所での飲食はご遠慮ください。

○ゴミは全て会場内のごみ箱に捨ててください（分別にご協力ください）。

○7月5日の大会終了後は11時30分までに会場からご退出下さい（時間厳守）。ポスター発表をされる方は、退出時刻までにポスターを撤去ください。それ以降に掲示されているポスターは事務局で処分させていただきます。

○会場内での物品、現金等の破損、紛失に関して、大会事務局では責を負いかねます。各自ご注意ください。

○研究発表資料の撮影、録画等は禁止です。撮影および録画を希望される場合、事前に発表者の了解を得てください。

■研究発表

○口頭発表者は、発表データを7月4日12時45分までに、受付へUSBメモリにて提出ください。その際、動作確認をお願いいたします。

○口頭発表は質疑応答を含め、1演題20分です（講演17分：質疑応答3分）。14分、17分、20分にチャイムでお知らせいたします。

○ポスター発表では、説明のコアタイムを設けています。コアタイム中、発表者はポスター前に立ち、内容説明をお願いします。

■情報交換会

会場は大会会場から徒歩圏内です（18:30～20:30）。詳細は大会当日にお知らせいたします。

大会プログラム

7月4日	12:15-13:00	受付
	13:00-13:10	開会挨拶、事務連絡
	13:10~	研究発表(座長 徳武浩司：沖縄美ら海水族館)
	13:10-13:30	O-01 ハンドウイルカの人工授精方法の検討 山本桂子 (オキナワマリンリサーチセンター)
	13:30-13:50	O-02 ハンドウイルカにおける新たな精液液状保存法の開発 柏木伸幸 (かごしま水族館)
	13:50-14:10	O-03 冷蔵輸送精液を用いた人工授精でのハンドウイルカの人工授精の成功2例 加来雅人 (九十九島水族館・九十九島動植物園)
	14:10-14:20	休憩
	14:20~	研究発表 (座長 川口英治：横浜市立野毛山動物園)
	14:20-14:40	O-04 九十九島動植物園におけるアミメキリンのハズバンドリートレーニング (仮) 林田 茜 (九十九島動植物園)
	14:40-15:00	O-05 LED照明を用いた屋内水槽でのオオサンショウウオ繁殖成功について 伊東明洋 (瑞穂ハンザケ自然館)
	15:00-15:10	写真撮影、休憩
	15:10-16:30	ポスター発表 (コアタイムあり)
	16:30-17:30	特別講演 (座長 柳川洋二郎：北海道大学) 動物園における研究の歴史 村田浩一 (横浜市立よこはま動物園)
	17:30-17:35	事務連絡
18:30~20:30	情報交換会	
7月5日	9:10-9:20	受付
	9:20-9:45	総会
	9:45-9:50	休憩
	9:50-10:35	海外事例報告 (座長 藤原摩耶子：京都大学野生動物保全センター) タイにおけるウンピョウの人工授精 東野晃典 (横浜市立よこはま動物園)
	10:35~	研究発表 (座長 恩田英治：横浜市立よこはま動物園)
	10:35-10:55	O-06 飼育下雌ライオン (<i>Panthera leo</i>) における性腺刺激ホルモン放出ホルモンワクチンの避妊効果 川瀬啓祐 (大牟田市動物園)
	10:55-11:10	O-07 [ZARAS] 動物園水族館繁殖研究アライアンスの紹介と活動報告 (2018年) 楠田哲士 (日本動物園水族館協会生物多様性委員会)
	11:10-11:20	閉会挨拶、事務連絡
13:00~	施設見学 (各自：入園窓口で大会名札を提示)	

ポスター発表演題 (33 題)

ポスター番号	発表題目	コアタイム
P-01	[ZARAS] 日本動物園水族館協会の配偶子バンク事業における横浜市繁殖センターの配偶子回収実績 (2018年度) ○尾形光昭(横浜市繁殖センター)	15:20- 15:40
P-02	[ZARAS] メス配偶子保存を目的とした野生動物の卵巢組織凍結保存 (2018 年度) ○藤原摩耶子(京都大学野生動物研究センター)	
P-03	[ZARAS] 動物園飼育個体より採取された精巣組織からの精子採取および保存 (2016 ~2018 年度) ○金子武人(岩手大学理工学部)	
P-04	[ZARAS] 死亡雄アフリカゾウ生殖器における繁殖学的および病理学的検査 ○鳥居佳子(北海道大学大学院獣医学院)	
P-05	[ZARAS] ヤマネコの尿道カテーテル法による精液採取時におけるデクスメトミジンの有用性 ○野村彩織 (日本獣医生命科学大学)	
P-06	[ZARAS] アムールヤマネコの精液採取時の麻酔における塩酸メトミジンの有用性 ○山本理貴 (日本獣医生命科学大学)	
P-07	バンドウイルカの射出精液を用いた簡便な凍結保存操作および個体別の精液量の違い (仮題) ○小西優以 (アドベンチャーワールド)	
P-08	バンドウイルカ (<i>Tursiops truncatus</i>) 非保存液下条件による冷蔵輸送および生存精子形態の観察の一例 ○野田義博 (東京都健康長寿医療センター研究所)	
P-09	キングペンギン (<i>Aptenodytes patagonicus</i>) 由来精液のグリセロール不含凍結保存法の開発~凍結融解精子の形態学的考察~ ○安齋政幸 (近畿大学先端技術総合研究所)	
P-10	希少動物の保全を目指した簡易的な組織凍結方法の検討 ○佐野宙矢 (東京農業大学大学院農学研究科)	
P-11	[文献紹介] 野生ネコ科動物における発情排卵誘起法 ○松原香菜 (岐阜大学大学院自然科学技術研究科)	
P-12	国内飼育下キリンの月あたりの出産時期と死亡率の傾向ならびに月の朔望と出生数の関連性 (仮題) ○高橋勇太 (岐阜大学応用生物科学部)	
P-13	飼育下のプーズーにおける母子行動と子の成長に伴う行動変化 ○豊田英人 (埼玉県こども動物自然公園)	
P-14	南米から輸入後の雌雄プーズーにおける糞中の性ステロイドホルモン動態を指標とした繁殖季節のモニタリング (仮題) ○吉田智紀 (岐阜大学大学院自然科学技術研究科)	
P-15	雄チーター <i>Acinonyx jubatus</i> の行動及び鳴き声による雌の発情検知の有用性の検討 ○井門彩織 (目白大学人間学部子ども学科)	
P-16	3つの動物園における飼育下チーターの尿スプレー行動と性差の関係について ○鈴木 美彩 (京都大学野生動物研究センター)	
P-17	性腺刺激ホルモン製剤を投与したチーターにおける糞中の性ホルモン動態からみた発情・排卵誘起状況の検証 (仮題) ○松原香菜 (岐阜大学大学院自然科学技術研究科)	
P-18	飼育下ラッコにおける糞中ステロイドホルモン動態を指標とした繁殖生理状態のモニタリング (仮題) ○長島怜菜 (岐阜大学大学院自然科学技術研究科)	
P-19	ジャイアントパンダにおける排卵日推定と繁殖期の季節性の変化 ○堀田紗代 (神戸市立王子動物園)	

P-20	アフリカゾウにおけるイヌ用排卵期簡易検出キットを用いた人工授精適期予測のための無排卵 LH サージ日特定の試み ○松村亜裕子（盛岡市動物公園）	15:40- 16:00
P-21	カピバラの生殖器と行動を指標とした発情周期のモニタリングおよび腔粘膜上皮細胞の培養系の確立 ○仲田希望（東京農業大学農学部）	
P-22	ツシマヤマネコの無保定下での超音波検査による妊娠診断の試み（仮） ○足立 樹（九十九島動植物園）	
P-23	糞中ホルモン動態を指標としたトラの妊娠判定実施例（～2018年）（仮題） ○松原香菜（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）	16:00- 16:20
P-24	屈腱弛緩が認められた新生子アミメキリンの経過と成長 ○加来雅人（九十九島水族館・九十九島動植物園）	
P-25	カピバラのハズバンドリートレーニングによる採血および血液を用いた解析 ○諸橋菜々穂（東京農業大学大学院農学研究科）	
P-26	ニホンライチョウにおける飼育環境条件の違いによる繁殖生理状態の比較（仮題） ○金原弘武（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）	
P-27	飼育下エンペラーペンギンの交尾期における行動パターン ○材津陽介（名古屋港水族館）	
P-28	ヘルーガの繁殖期における行動と鳴音の変化（仮題） ○山本みのり（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）	
P-29	新生仔ハンドウイルカの治療の一例（仮題） ○加来雅人（九十九島水族館・九十九島動植物園）	
P-30	飼育下タイハクオウムにおける繁殖生理状態把握のための糞を用いた性ホルモン測定の有有用性の検討（仮題） ○橋爪涼子（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）	
P-31	飼育下のユキヒヨウにおける植物食行動 ○義村弘仁（京都大学野生動物研究センター）	
P-32	希少爬虫類の生息地公開型保全の可能性～クロイワトカゲモドキの事例～ ○徳武浩司（沖縄美ら島財団）	
P-33	飼育下フクロウ目における腸内細菌叢 ○松本昇子（岐阜大学大学院自然科学技術研究科）	

施設見学（交通案内および見学コース参照）

見学施設への移動は各自でお願いします。交通案内を参照ください。施設の入園窓口で大会参加証を提示ください。提示いただけない場合は入園料が必要となります（野毛山動物園を除く）。

園内は自由に見学いただくか、各園が準備した見学コースに参加いただくことが可能です。見学コースへの参加を希望される方は、所定の時間に集合場所等へ各自、お集まりください。なお、各施設とも 16:30 で閉園となります。

見学コース

★よこはま動物園

- ・ 時間 : 14:00-15:30
- ・ 集合場所 : よこはま動物園北門ゲート (集合 14:00)
- ・ 見学コース

北門ゲート⇒動物病院、繁殖センター⇒サバンナエリア (ハイラックス〜クロサイ付近) ⇒解散

★金沢動物園

- ・ 集合時間 : 14:30
- ・ 集合場所 : インドゾウ舎
- ・ 見学コース

インドゾウ舎バックヤード⇒インドサイ舎⇒現場解散

★野毛山動物園 :

- ・ 自由見学。特定の動物舎の施設見学を希望される方は、6月27日午前までに大会実行委員アドレス (mi00-ogata@city.yokohama.jp) に、ご連絡ください。ただし、施設の都合により希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

動物園への道案内



野毛山動物園



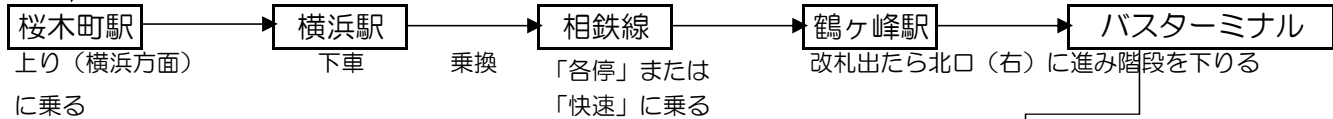
- ①会場を出発
- ②JR桜木町駅南口へ向かい、改札口前を通過し
反対通路へ
- ③「野毛ちか道」の地下道へエスカレーターで下る
- ④そのまま前進（約50m）して壁にぶつかったら、
右側のエスカレーターを上る（南1口）
- ⑤「動物園通り」をまっすぐ進む
- ⑥広い道路に出たら、右に進む
- ⑦野毛坂交差点の信号の横断歩道を渡りまっすぐ進む
左に大きな図書館（中央図書館）が見える
- ⑧急な坂道（野毛坂）を上る
- ⑨野毛山動物園に到着（徒歩約15～20分）

ズーラシア



時刻表 (よこはま動物園行)

時刻	時間
12	10 42 57
13	30 45
14	02 30 42
15	10 45 57



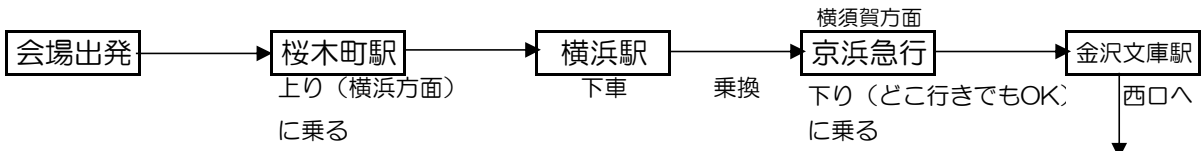
徒歩5分
バス停9番乗り場
よこはま動物園行き (15分)

- ①階段を降りたら、まっすぐ進む
- ②横浜銀行を通り過ぎる
- ③一番始めの曲がり角を右に曲がる
- ④セブンイレブンが正面に見えたらその方向へ
- ⑤セブンイレブンの左の脇道がバスターミナル

時刻表 (よこはま動物園行)

時刻	時間
12	15 35 58
13	15 35 45
14	00 15 26 33
15	11 20 49 56

金沢動物園



バスターミナル

バス停1番乗り場

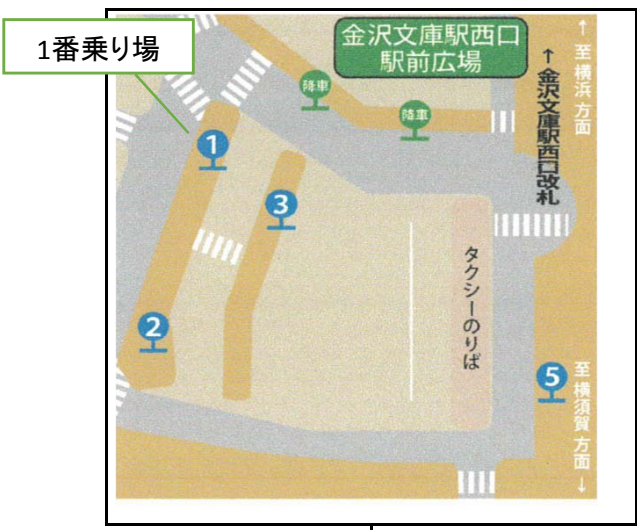
野村住宅センター行き (12分)
時刻表

時刻	時間
12	01 15 28 41 53
13	08 28 49
14	07 19 31 43 55
15	07 19 31 43 55

夏山坂上(停留所)

徒歩6分

金沢動物園



券売所

- ①バス停「夏山坂上」下車
- ②バスの進行方向の逆に戻る
- ③T字路を左に進む
- ④金沢動物園の入口が見える
- ⑤斜め右方向に進む
- ⑥券売所が見える(徒歩6分)

